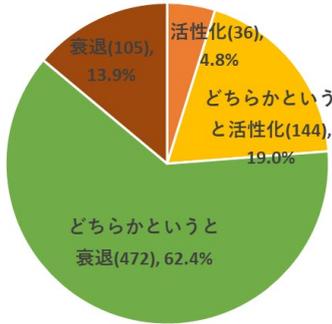


令和4年度 ACTR

分類 番号	A6	取組 名称	京田辺市「住民協働型まちづくり協議会」の在り方提案
研究代表者所属・職名：		公共政策学部・准教授	氏名： 駒寄 忠大
研究担当者： 京都府立大学京都地域未来創造センター（駒寄忠大、川勝健志、今堀誠弥、前川由衣（敬称略）） 外部分担者・協力者（京田辺市 小野原 寛人氏）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名） 京都府京田辺市市民部市民参画課			
<b>【研究活動の要約】</b>			
<p>「自治会等」を補完する役割として「まちづくり協議会」の設立が全国的に進んでいる。しかしながら課題は多く存在し、特に「人材不足」に関する懸念は大きい。京田辺市においても今後「まちづくり協議会」を展開していく予定となっているが、こうした「人材不足」をどうするかについては、避けては通れない論点であると考えられる。そこで、京田辺市において地域人材が存在するのか実態調査で明らかにした上で、まちづくり協議会において地域人材が有効に活用されるためにはどうすればいいか提言することを目的とし、研究活動を行った。調査方法として①18歳以上の市民2,000人を対象とした市民アンケート調査②三山木地区の区長・自治会長11名を対象としたヒアリング調査③先進自治体である三重県名張市・兵庫県宝塚市を対象にヒアリング調査を実施した。</p>			
<b>【研究活動の成果】</b>			
<p>京田辺市における区・自治会及び地域人材の実態調査からまちづくり協議会の可能性について検討してきた結果、以下のような点が明らかになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○区・自治会は古くから地域コミュニティの中核を担っている。特に高齢者から高い評価を得ている。</li> <li>○区・自治会は役員の負担が大きいなど何かしらの不満が存在している。また、多様化している地域課題の全てに対応できているわけではない。</li> <li>○区・自治会の推定加入率は年々低下している。特に若い世代の加入率は低い傾向にある。また、区・自治会の将来に対して悲観的な見方をする加入者も多い。</li> <li>○区・自治会に加えて地域を支える活動が必要と考える人は7割を超える。</li> <li>○区・自治会のほかに地域活動に協力してもいいと考える人は半分近く存在している。一方で協力意向を持ち合わせていながらも、区・自治会の枠組みで捉え切れていない人が一定存在している。</li> </ul> <p>以上のことなどを踏まえ、個人単位で多様な主体が柔軟に地域活動に参加する受け皿として区・自治会と差別化した「まちづくり協議会」を作り上げることができれば、若い人をはじめとした様々な地域人材が活躍する場を増やすことにつながるため京田辺市にとって意義が大きいことが明らかにした。</p> <p>また、調査結果からまちづくり協議会が地域人材の受け皿として機能させるため必要なこととして、（1）求められる共通認識（2）区・自治会役員の関わり方（3）まちづくり協議会に対する支援（4）地域人材を集めるための工夫という4つの観点から提言を行った。</p>			
<b>【研究成果の還元】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ACTR 調査報告書 2023年3月発行</li> <li>・ ACTR 成果報告会 2023年3月20日（月）京田辺市役所にて実施</li> </ul>			
<b>【お問い合わせ先】</b> 京都地域未来創造センター Tel: 075-703-5390 E-mail: kirpinfo@kpu.ac.jp			

参考 (イメージ図、活動写真等)

【区・自治会加入者対象】  
区・自治会のこれからの展望

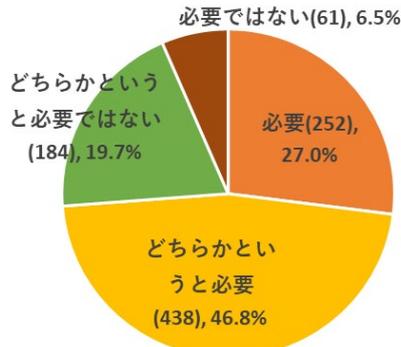


注) 回答権保有者 (780人) のうち  
無回答・不明 (23人) 除く

⇒区・自治会の将来に対し悲観的な見方を

する人が76.3%存在。

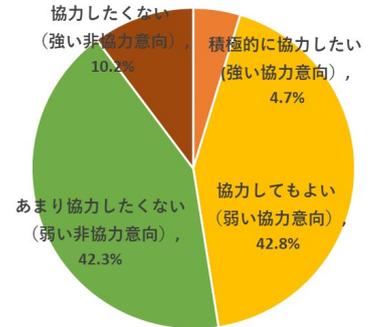
区・自治会に加えて地域を支える活動の  
必要有無 (市民アンケートより)



注) 回答権保有者 (964人) のうち  
無回答・不明 (63人) 除く

⇒地域を支える活動にニーズを  
感じる人が73.8%存在。

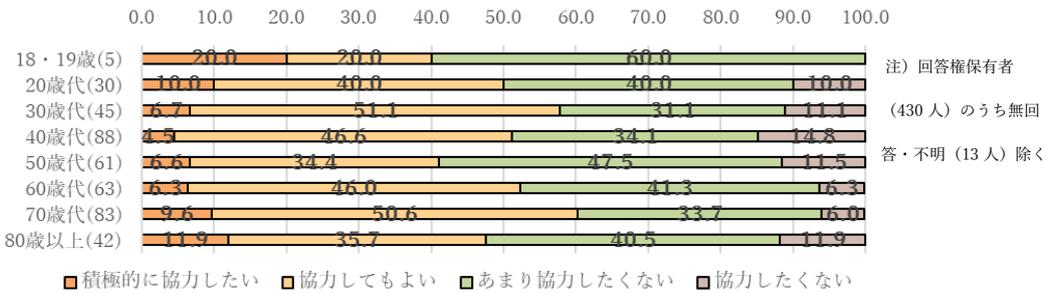
区・自治会のほかに地域を支える活動への  
協力意向 (市民アンケートより)



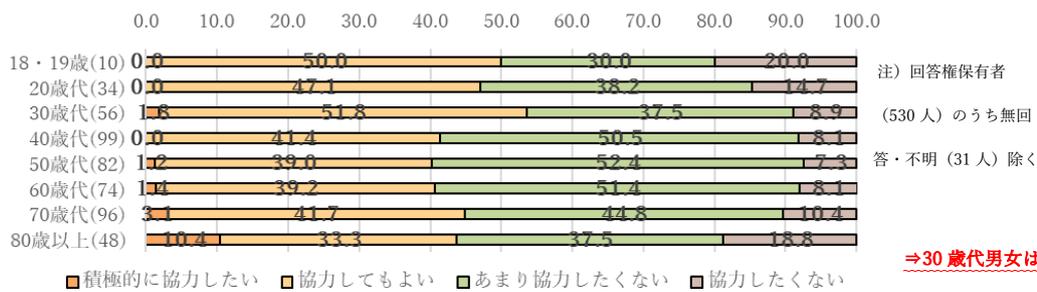
注) 回答権保有者 (964人) のうち  
無回答・不明 (44人) 除く

⇒協力意向を持つ人と非協力意向を持つ人の  
割合がほぼ半々。

【男性対象】年齢別 協力意向 (市民アンケートより)

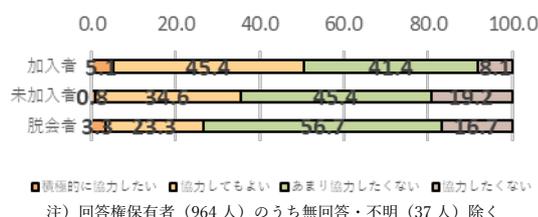


【女性対象】年齢別 協力意向 (市民アンケートより)



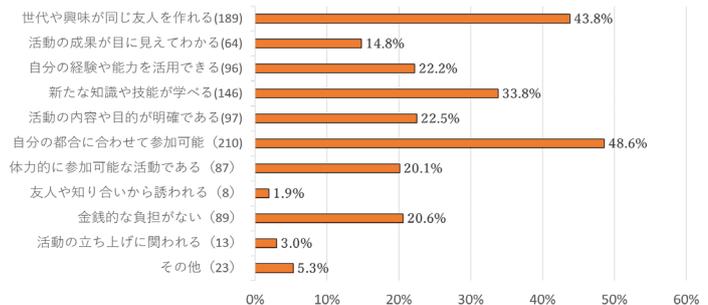
⇒30歳代男女は比較的協力意向が高い

区・自治会加入状況別 協力意向 (市民アンケートより)



⇒区・自治会加入者が最も協力意向が高い一方で、  
区・自治会の枠組みから漏れている、未加入者・脱会者  
にも協力意向が認められる。

【協力意向を持つ人対象】活動に協力するための要素や条件等 (市民アンケートより)



注) 回答権保有者 (437人) のうち無回答・不明 (5人) 除く

⇒活動に参加してもらうためには時間的配慮が最重要